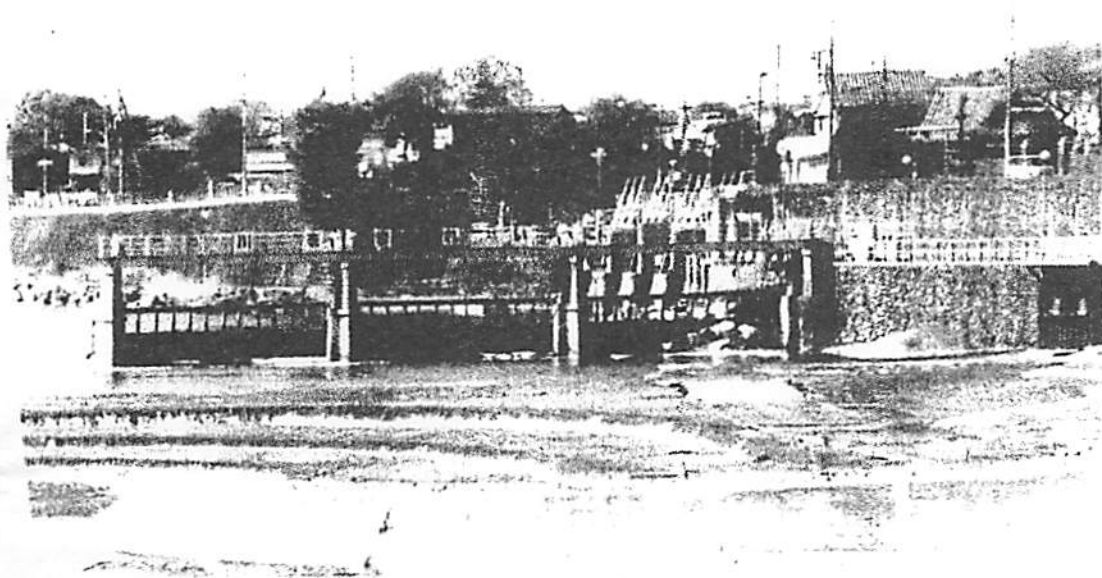


第439回 史跡めぐり

## 玉川上水(取水口)・福生・青梅

江戸時代の上水の歴史を学び  
多摩地方の史跡を巡る

- 狭山地区 「山口貯水池(狭山湖)」・「狭山不動寺」  
羽村市地区 「玉川上水取水口・玉川兄弟像、羽村市立郷土資料館、  
まいまいず井戸、中里介山の墓」  
福生市地区 「幸楽園・昼食」、 「田村分水の田村酒造場」  
青梅市地区 「天寧寺(曹洞宗)」



玉川上水取堰(多摩川)

NPO 法人越谷市郷土研究会

## 第439回 史跡めぐり

山口貯水池(東京都の水道水)、玉川上水(江戸町民の生活水)、  
多摩地方の歴史と遺跡をめぐる。

実施日 平成25年5月28日(火)

集 合 北越谷駅西口 交番前 午前8時30分

参加費 6500円(バス代、昼食、保険料など)

コース

北越谷駅西口 8:35出発(外環道) → 狭山不動寺・狭山湖  
→ まいまいず井戸(羽村市) → 幸楽園・昼食 → 田村酒造  
(福生市) → 中里介山の墓・羽村市立郷土資料館・玉川取水  
口・玉川兄弟の像 → 天寧寺(青梅市) → 北越谷駅

解散は午後6時頃を予定

案内者 常任理事 田端 功政

実行委員 香取世志男

# 狭山不動寺

狭山丘陵の豊かな自然の中に昭和50年開山した。平成13年に本堂が新たに  
建立され、境内には重要文化財が沢山あります。

## [第一多宝塔]

大阪府高槻市の畠山神社(菅原道真が  
祭神)、約370年前の桃山時代  
に建造された神社が移築された。埼玉県  
指定有形文化財



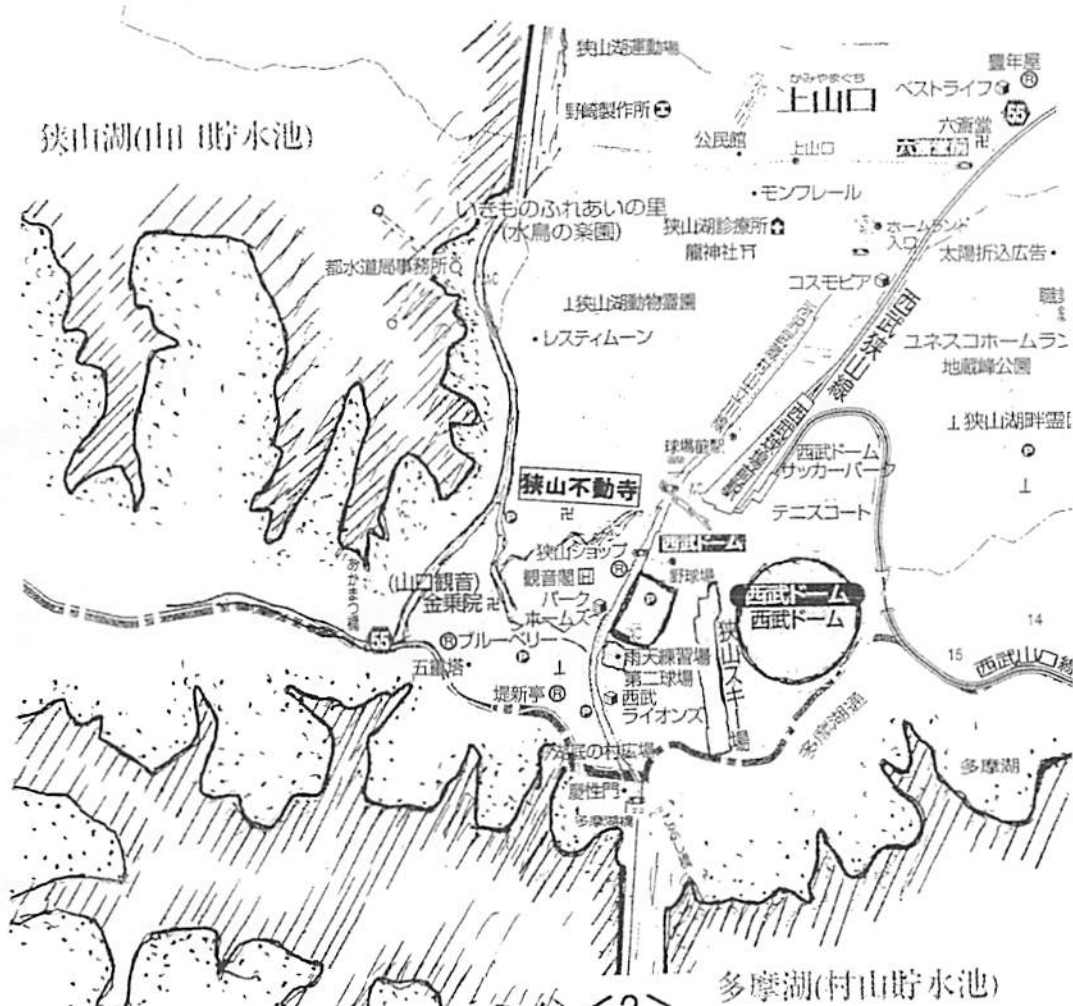
## [大黒堂]

旧柿本人麻呂歌塚堂。歌聖柿本人麻呂のゆかりの地、奈良極楽寺境内  
に建立されていた歌塚堂。当時の歌人達が歌会を開いた堂宇であると伝えら  
れている。

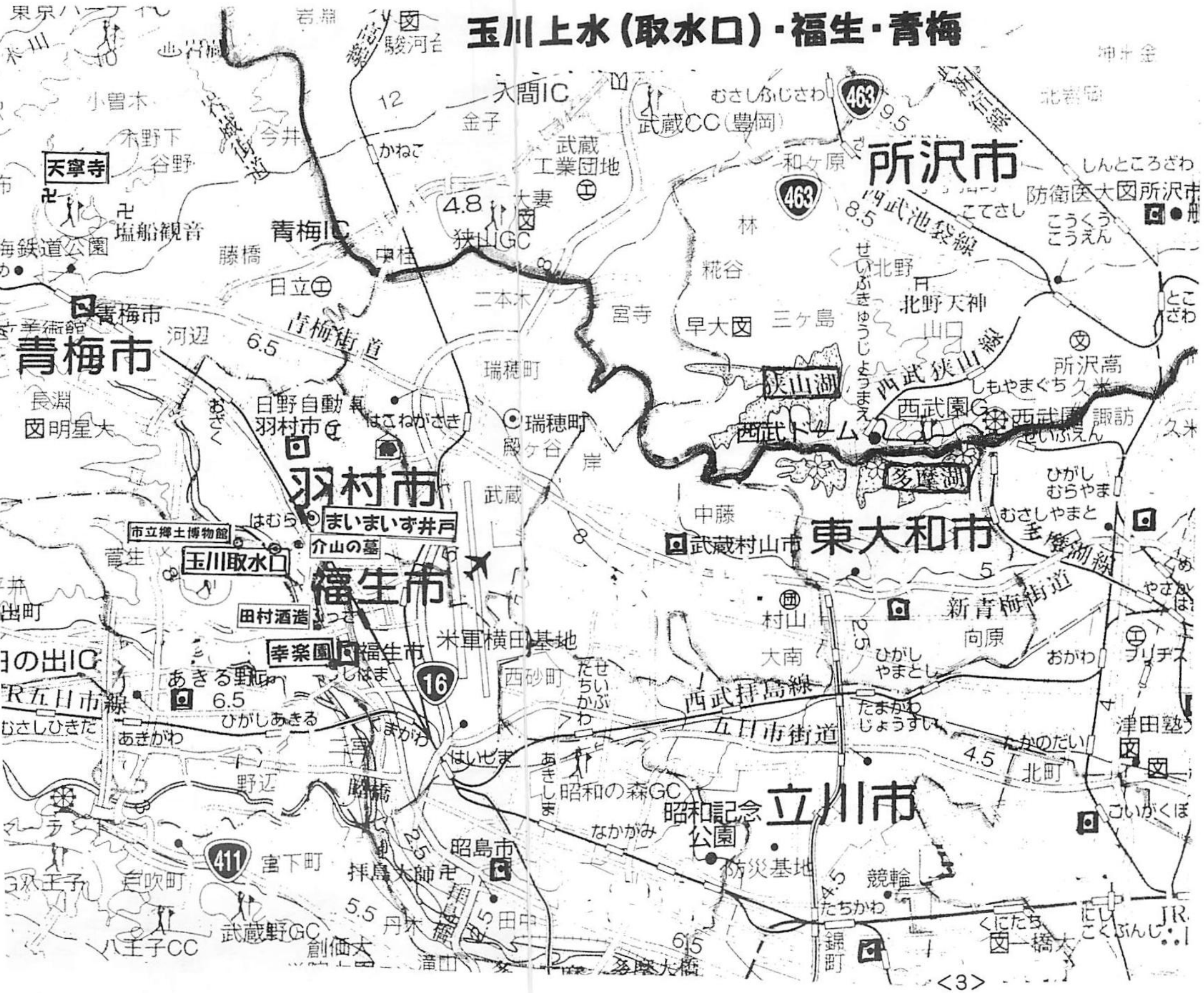
## [羅漢堂]

井上馨公の還暦を祝して、井上邸の屋敷内に建立された。昭和20年の戦  
災では、この御堂だけが残り、ここに移築された。

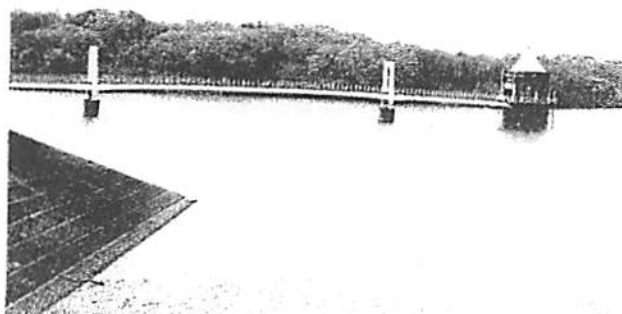
所沢市上川口 2214 tel 042-928-0020



# 玉川上水(取水口)・福生・青梅



## 狭山湖(山口貯水池)



源水は羽村および小作の両取水堰で多摩川から取水され羽村線で多摩湖(村山貯水池)に、また羽村線終点近くから分岐した山口引水水路から狭山湖(山口貯水池)にそれぞれ導水される。取水塔から村山線を経て東村山・境浄水場に導水される。村山線は、原水連絡管を通じて朝霞浄水場と連絡され、多摩川系と利根川の原水を相互融通する機能をはたしている。

狭山湖(山口貯水池)の貯水量は1953万立方メートル、昭和9年完成。

多摩湖(村山貯水池)の貯水量は1482万立方メートル、昭和2年完成

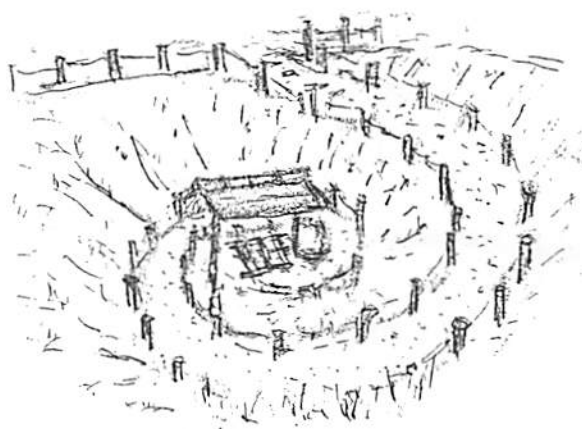
歴史経過は、東京市の人口増加に対応して水源確保のため、多摩川の水を羽村取水堰で取り入れ、導水管にて村山貯水池・山口貯水池に導いて貯水し、浄水処理を行い市内へ給水する。村山下貯水池の第一取水塔は日本で一番美しい取水塔と言われている。

狭山湖--所沢市 多摩湖--東京都(東大和市)

## まいまいず井戸

JR 羽村駅東口近くの「五ノ神社内」にあるスリバチ状の井戸。この付近に鎌倉時代に鋳物師の集落があった。多摩川から離れた高台のため、深い水脈までカタツムリ形井戸を掘り水を得たという。生活水を得るために苦勞したことが、この井戸から感じられる。スリバチ状の井戸は埼玉県では狭山地方にみられる。

羽村市五ノ神一丁目

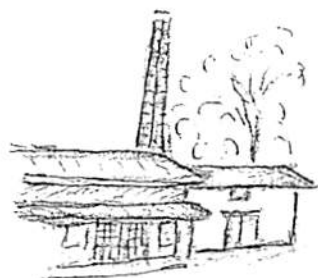


## 昼食—幸楽園

60年の歴史を持つ料亭。東日本最大の「いけす」を持つ

(福生市熊川1018 tel042-551-0035)

## 田村酒造場



田村勘次郎が文政5年(1822)造り酒屋を起し、  
蔵元としての歩みを始めた  
「田村分水」--慶応3年(1867)幕府より取水権を  
得て、玉川上水を敷地内に取り入れ、精米用の水車、  
灌漑用水、生活用水として、福生の地を潤してきました。  
清酒「嘉泉」が有名です。  
(福生市福生626 tel 042-553-0003)

## 中里介山の墓 -- 臨済宗禅林寺裏山の墓地

本名は弥之助、明治18年羽村に生まれた。  
西多磨小学校卒業後電話交換手しながら  
独学。16才の時、母校の代用教員となり、21  
才で都新聞に入社。「高野の義人」など発  
表。大正2年 構造を練っていた「大菩薩  
峠」の連載を始めた。旅と孤独を愛し、昭和1  
9年、60才で亡くなった。



墓は五輪石塔で、台座に積み上げられた石は、小説にゆかりの大菩薩峠から  
運んだものといわれている。

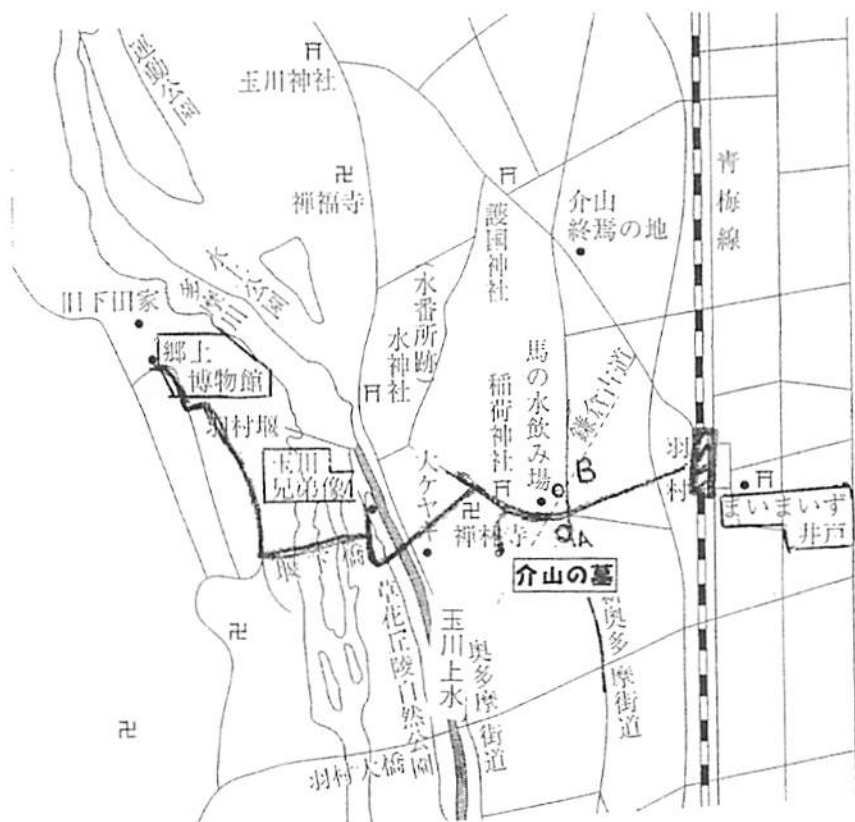
## 羽村橋の大ケヤキ

樹齡は800年以上、幹回り約7.2m、高さ25m  
段丘崖下に扇状の根がはり、根元から湧水が  
流れ出て、木の成長を助けている。



## 玉川上水羽村取水堰

奥多摩の沢水を集めた多摩川溪流のほとんどが、羽村の堰で玉川上水へと流れ  
ています。洪水のときに堰の崩壊を防ぐため余分の水を流す「投げ渡し堰」の構造  
は、江戸時代と変わりません。ここから下流はゆったりと流れ東京湾に入ります。

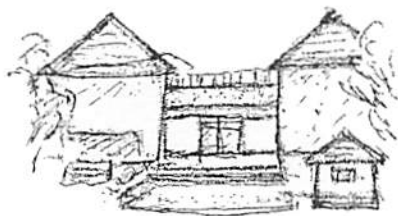


## 玉川上水羽村陣屋跡・玉川水神社

玉川上水の完成後、幕府は上水管理の陣屋を設けた。今は当時の陣屋門だけ残っています。隣の神社は、玉川上水守護神です。

## 羽村市郷土資料館

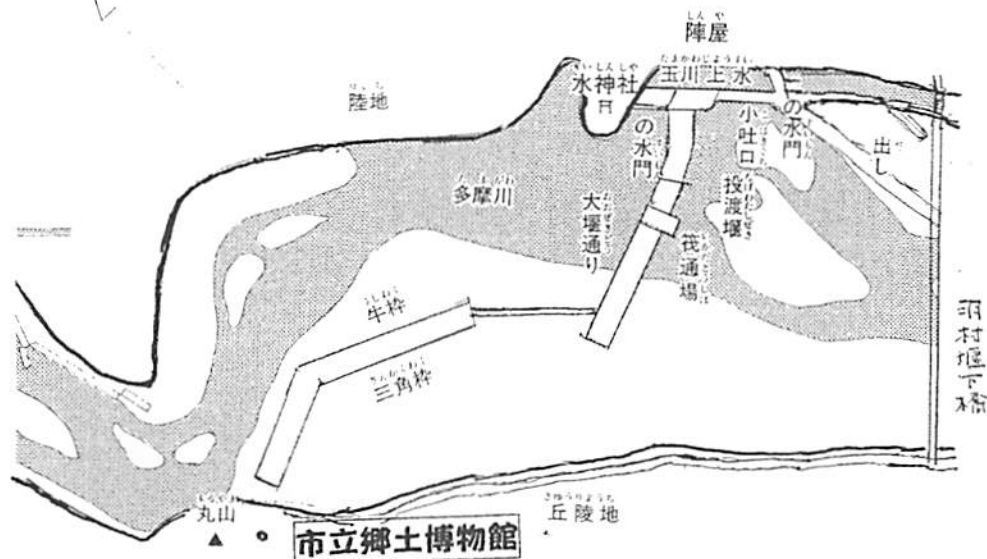
多摩川右岸に見られる三角屋根、レンガ壁の建物が羽村市郷土博物館です。



### 展示内容

- ① 玉川による河岸段丘の形成と羽村の歴史を紹介
- ② 玉川上水の仕組みやその役割と歴史
- ③ 村の養蚕の産業と近代都市への発展。
- ④ 中里介山の世界。「大菩薩峠」や著作を展示。
- ⑤ 野外展示講 旧下田家住宅・江戸時代末期に畑作を営んでいた農家と生活用具を展示。

## 玉川上水の取水口



① 多摩川の水を羽村の岸に導く大堰

②. 水門は二つ、

「一の水門」---長さ9m、高さ2.4m。5口で差蓋35枚あり、多摩川から上水にはいる水量を調節する

「小吐口」 大水がでて、上水にたまった土・小石を多摩川に戻す吐け口。

「二の水門」--- 長さ、高さは「一の水門」は同じだが、幅が二倍で差蓋42枚あり、上水にはいた水量を調節し、多摩川に流す。

## 玉川上水

### I 玉川兄弟の計画

江戸幕府が開かれ50年過ぎ、江戸に住む武士、町人が多くなり飲み水が足りなくなり、堀を掘り、多摩川の水を江戸まで引く計画が立てられ、庄右衛門・清右衛門兄弟が担当した。

羽村から四谷大木戸(新宿区)43km(十里)は堀を掘って水を流し、中では石柵や木管で水を通した。工事は承応(じょうおう)2年(1653)4月4日から始まり、11月15日で、堀は完成した。八ヶ月の短期間



であった。費用は六千両の予算、追加は兄弟が負担した。

## Ⅱ 玉川兄弟の苦勞

- ① 水が地下にしみ込み下流に流れない。
- ② 大きい岩盤に突き当たる。

安松金右衛門(川越藩士)の土木水利工事の技術援助を受けた。

## Ⅲ 玉川上水完成後の玉川兄弟

完成後、玉川という名をもらい武士になる。玉川上水を管理する役目になる。

### 玉川兄弟の銅像

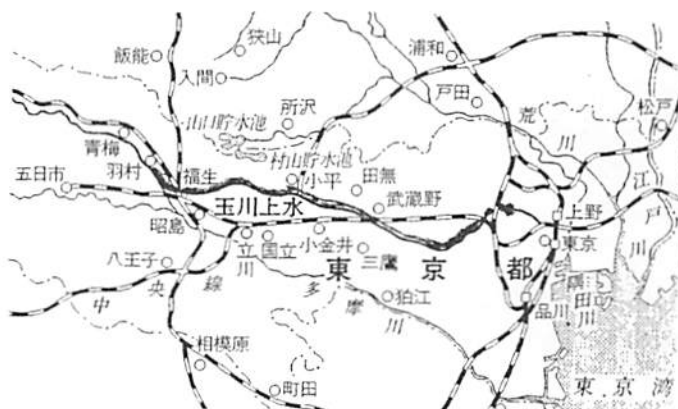
玉川上水取水口公園に昭和33年に創られた。

制作作者松野伍秀。



### 玉川上水の水路

羽村から新宿(43km)



## 天寧寺

文亀年間(1501~1503)、勝沼城主だった三田氏によって開基されました。丘陵の地形を利用した寺域全体は、曹洞宗の典型的な七堂伽藍の配置となっており、広大な境内は東京都の史跡にも指定されています。

山門は建立されたのが江戸時代(1760年)である。山門の左右に「多聞天」「増長天」の二天像が安置されている。

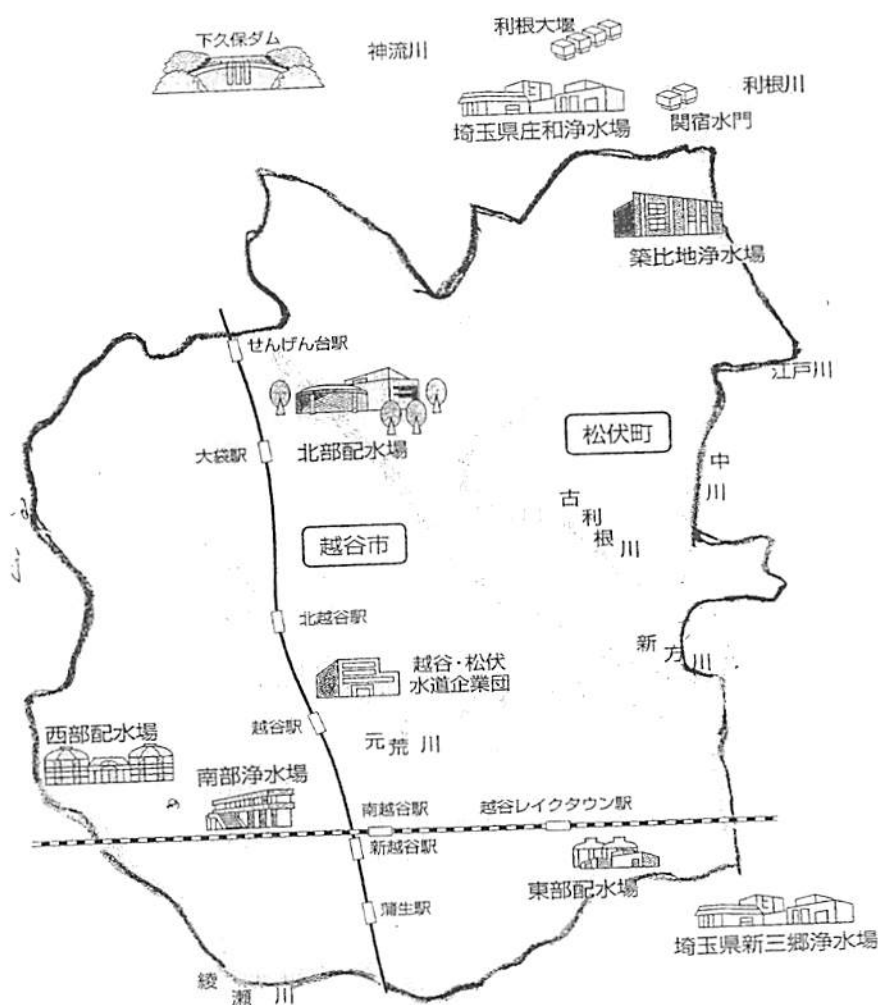
中雀門は格調美あふれる構えを見せている。建立は江戸時代(1853年)で桃山様式の唐門の特長を表している。

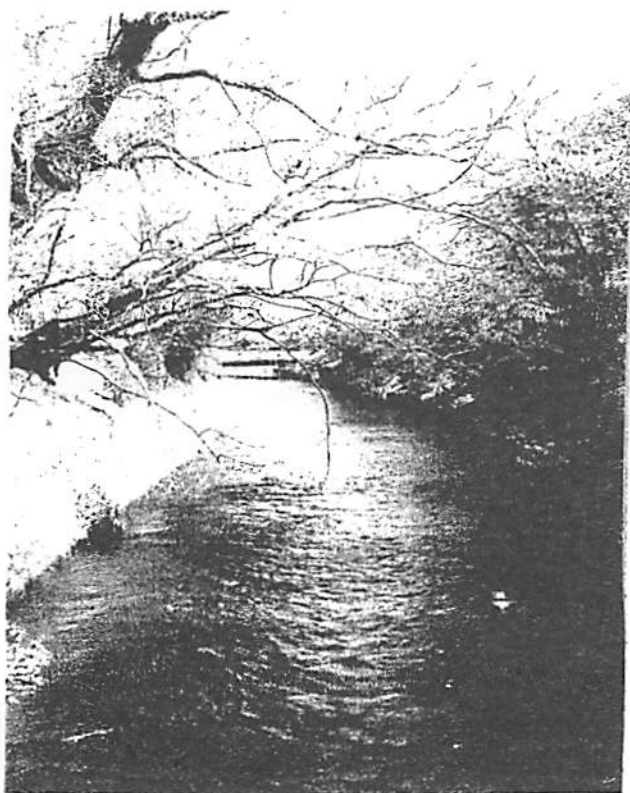
青梅市根ヶ布1-454 tel 0428-22-3566

## 越谷の水道

越谷・松伏水道企業団は昭和44年に設立、安全で良質な水を安定して供給に努めている。

歴史は昭和31年越谷町水道認可。昭和35年越谷・松伏水道組合の成立。現在、越谷・松伏水道企業団の水道水の約9割は、河川の水を水源としています。利根川、江戸川を流れて埼玉県浄水場(庄和浄水場、新三郷浄水場)で取水、浄化されて水道水となります。1割は地下水を浄化して使用。





羽村取水口近くの玉川上水

<次の資料から引用しました>

- 1 玉川兄弟 杉本苑子 文春文庫
- 2 玉川上水(その歴史と役割)― 羽村市教育委員会
- 3 東京都の水道―東京都水道局
- 4 東京都の歴史散歩 下 山川出版社
- 5 羽村市、福生市、青梅市の観光パンフレット
- 6 はむらの歴史― 羽村市教育委員会
- 7 こしまつ水道―越谷・松伏水道企業団